

天満橋駅(地下鉄谷町線)④

龍馬、新選組も訪れた! 幕末の船場を歩く

天満橋駅(京阪本線・中之島線) 北浜駅(地下鉄堺筋線・京阪本線)
なにわ橋駅(京阪中之島線)

「大阪あそ歩マップ集」
その2 No.049



地下鉄・京阪天満橋駅

① 堺屋源兵衛跡

八軒家といわれたこのあたりは、船宿が8軒あったのでその名がついたといわれていますが、そのひとつが堺屋です。伏見の寺田屋と業務提携していたので、坂本龍馬も泊まったかもしれません。

② 京屋忠兵衛跡

八軒家船宿の中でいちばん有名なのが京屋で、新選組の御用宿でした。鳥羽伏見の戦いのあと、大坂城を焼け出された新選組隊士たちが京屋に泊まっています。

③ 前島密像

前島密は郵便の仕組みをつくり、「郵便」「切手」などの言葉を定めました。当地は、紀州藩蔵屋敷跡です。

④ 天神橋

豊臣秀吉のころに架けられたと伝わっています。江戸時代には幕府直轄の公儀橋になり、天満橋、難波橋とともに浪華の三大橋として愛されてきました。しかし、幕末の天神橋には、新選組暗殺犯説が根強く残る、西町奉行所与力暗殺事件や、壬生浪士を騙り商家からお金をだまし取っていた男が新選組に処刑され、欄干から首をぶら下げられたという話など、血なまぐさい話が伝わっています。

⑤ 竹式楼跡

越後長岡藩士・河井継之助が日記に、安政6年(1859)、今橋新地(築地蟹島)にある竹式楼に宿泊したと記しています。

⑥ 瓢箪屋跡

安政2年(1855)、勤皇の志士・清河八郎は今橋築地の料亭「瓢箪屋」に宿泊し、天神祭船渡御を見物したことを旅行記に書いています。このとき清河は11泊し、船遊びをして川のある生活を楽しんでいます。

⑦ 花外楼(大阪会議開催の地)

明治8年(1875)、大久保利通、木戸孝允、板垣退助らが、政治の改革を論議し、日本の立憲政体の基礎を確立しました。これが「大阪会議」です。会議成功の記念に木戸孝允が揮毫した「花



外楼」が、会議の場であった料亭の名になりました。

⑧ 岩城樹屋跡

江戸時代、高麗橋周辺は呉服屋、扇屋、薬屋などの有名店が並ぶブランドストリートでした。岩城樹屋も江戸に支店をもつ大店で、文久3年(1863)、店に賊が入ります。京屋に滞在していた新選組の山南敬介らが駆けつけ、激戦になりました。

⑨ 難波橋

最初の難波橋は8世紀初めに行基によって架けられたといえます。現在の難波橋は大正4年(1915)、堺筋の市電開通にともない架け替えられました。天岡均一作のライオン像が阿吽の口形で左右にあり、ライオン橋とも呼ばれます。



地下鉄・京阪北浜駅

